

I. 日 時：平成27年11月16日（月）午後6時00分～午後8時

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館 会議室

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、酒井委員、田辺委員、家本委員、白崎委員、
辻村委員、井上委員、松本委員、斎藤アドバイザー、吉永アドバイザー、宮脇アドバイザー、
中塚アドバイザー
井端事務局長、森下

IV. 資 料： 1. 平成27年度産学連携事業の開催要項（案）

① 平成27年度「大学教員の企業現場研修」（案）

② 平成27年度「社会スタディ」開催要項（案）

③ 第7回産学連携人材ニーズ交流会開催要項（案）

V. 検討内容

1. 平成27年度産学連携事業の開催要項（案）について

前回の検討を踏まえて開催計画、開催要項（案）度活動報告資料に基づき「産学連携人材ニーズ交流会」、「大学教員の企業現場研修を検討した。

(1) 産学連携人材ニーズ交流会の開催要項について

第7回産学連携人材ニーズ交流会開催要項（案）に基づいて開催内容を検討した。

主な検討事項は以下の通り。

① 話題提供については、以下の方の内諾が得られたことが報告・承認された。

1. IoT（インターネット・オブ・シングス）の世界の潮流について

光井隆浩氏 株式会社東芝 IoT&メディアインテリジェンス事業開発室 室長附

2. 新たな価値を創出するビッグデータの活用

河合美香氏 富士通株式会社 統合商品戦略本部 エバンジェリスト

② 会場については、昨年まで使用していた「新宿住友ホール」が改修中のため「ベルサール西新宿」を会場 にすることにした。

③ 開催日時は3月4日（金）13：30から開催とした。

④ 「話題提供1. IoT（インターネット・オブ・シングス）の世界の潮流について」では、IoTの変革を描いていただくとともに便利さとリスクについても触れていただくことにした。

⑤ 「話題提供2. 新たな価値を創出するビッグデータの活用」では、活用事例の紹介と合わせて今後の人材育成について、「企業で求められる人材像」、「大学教育に求められるもの」を紹介いただくことにした。

⑤ 情報専門教育分科会からの課題提供では、現状の改善ではなく、全く新しいイノベーションをもたらす教育を考えることにし、これまでの大学教育では情報系、社会科学、文系の交流・連携が無かったことを踏まえて、分野横断型の教育の必要性、社会・産業界との連携による「構想力育成」について提案し意見交換を目指すことにした。

(2) 社会スタディの開催要項について

事務局から、予定の有識者からの内諾が得られ、会場の手配ができたことが報告され、開催要項の内容について検討、開催要項を確定した。

意見を踏まえ、募集案内を早く（12月1日発送）すること、募集対象を国・公・私立大学の1年生および2年生とすること、募集案内（A3パンフレット）を必要に応じて準備することが話し合われ、開催要項を確定した。

<開催日時・場所>

日時：平成28年2月16日（火） 午前10時30分～午後4時30分（受付開始10:00～）

場所：株式会社 内田洋行 ユビキタス協創広場 CANVAS（東京都中央区新川2-4-7）

<プログラム概要>

10:00 受付開始

10:30 開会挨拶

11:40 有識者からの情報提供と理解度の確認、質疑応答、補足説明

(1) イノベーションに求められる学び

東京大学 大学院 教授 須藤 修 氏

(2) 利用者視点での新たな価値創造とICT

富士通株式会社 法務コンプライアンス知財本部 シニアエキスパート 西川 仁 氏

(3) 夢を追求し、イノベーションを創出する「デザイン思考」と「分野横断学修」

株式会社NTTドコモ 執行役員イノベーション統括部長 柴藤 稔 氏

(3) ICT革命による日本再生

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特別招聘教授 夏野 剛 氏

15:20 気づきの整理と発展

16:30 閉会挨拶

<募集方法>

小論文（360～400文字）の事前審査により参加者を決定する。

小論文のテーマは「あなたは未来社会にどのように向かいたいと思いますか」とする。

<小論文・成果報告の審査>

昨年同様に「向殿委員長、大原副委員長、青木委員、井端事務局長」が担当する。

<プログラムの進め方、報告書の提出、「修了証」の発行>

① 昨年同様に各有識者からの説明、質疑応答を行う。

② 参加者は、3名程度でグループ討議し、終了後も必要な範囲でネット等を通じて意見交流し、学びの成果物を3月3日（木）までにメールで報告。（A4-1枚位）

③ 委員会で成果物を審査し、3月末に「修了証」を発行、優れた内容については、「優秀証」を発行し、所属大学の学長に報告するとともに本協会のWebに掲載する。

<開催内容の公開について>

有識者の「情報提供」と「質疑応答」の一部を背面から遠景撮影し、個人情報に配慮して公開する。

(3) 大学教員の企業現場研修の開催要項（案）について

平成 27 年度「大学教員の企業現場研修」について協力各社と調整した開催日時、開催内容が報告され、開催要項を確定した。

① 開催日

- ・株式会社 内田洋行 2 月 23 日
- ・日本電気株式会社 3 月 1 日
- ・株式会社日立製作所 3 月 8 日
- ・富士通株式会社 3 月 10 日

② プログラム

各社の ICT を活用したイノベーション事業について紹介いただき、社会的な課題、組織的な課題、グローバルな課題の解決に ICT が基盤として関わっていることの重要性について説明いただくプログラムとして各社の計画（案）が報告され、一部の修正を含めて開催要項を確定した。

2. 平成 27 年度産学連携事業の開催要項の発信と参加者の募集について

第 14 回臨時総会（11 月 25 日）において「平成 27 年度産学連携事業」3 件について報告・協議し、12 月 1 日に加盟大学、非加盟（国・公・私立大学）に開催要項を発送、参加者を募集することにした。